

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成28年7月7日(2016.7.7)

【公表番号】特表2016-509519(P2016-509519A)
 【公表日】平成28年3月31日(2016.3.31)
 【年通号数】公開・登録公報2016-019
 【出願番号】特願2015-556965(P2015-556965)
 【国際特許分類】

A 6 1 G 13/12 (2006.01)

A 6 1 M 25/01 (2006.01)

【F I】

A 6 1 G 13/12 B

A 6 1 M 25/01

【手続補正書】
 【提出日】平成28年5月18日(2016.5.18)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

台アセンブリであって；

患者の肢を支持する大きさに形成された表面を画定する支持台；

前記支持台の遠位端部から延びた接合部分であって、放射線透過性であり、かつ前記支持台から一定距離延びている、接合部分；及び

前記接合部分に近接した位置で前記支持台に回動可能に接続されたクレードル部材であって、前記肢を支持した状態でも前記支持台に対して回動可能のままである、クレードル部材を含み、

前記接合部分が、前記支持台の前記遠位端部に接触している第 1 の縁、及び前記第 1 の縁の反対側の第 2 の傾斜縁も有し、前記第 2 の傾斜縁が前記第 1 の縁よりも長く、かつ

前記接合部分が、前記接合部分及び前記支持台を通る長手方向軸を中心に回動させて調整することが可能であり、これにより、前記接合部分が回動するときに前記第 2 の傾斜縁を反対方向に再構成可能である、アセンブリ。

【請求項 2】

前記接合部分が、前記長手方向軸を中心とするさらなる回動が防止されるよう前記支持台に固定されるように構成されている、請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 3】

前記接合部分の前記第 2 の傾斜縁が、前記接合部分が再構成されるときに追加の支持台の両側に配置可能である、請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 4】

前記接合部分が、その下で他に接触せずにイメージング装置を収容できる距離まで延びている、請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 5】

前記クレードル部材が、患者の肢を受容して支持するように構成された、請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 6】

前記クレードル部材を前記支持台に固定するように構成された接続接合部；及び

前記接続接合部から前記クレードル部材まで回動可能に延びた支持アームをさらに含む、請求項 5 に記載のアセンブリ。

【請求項 7】

前記接合部分及び / 又は前記支持台から延びた放射線不透過性障壁をさらに含む、請求項 1 に記載のアセンブリ。

【請求項 8】

台アセンブリであって：

患者の肢を支持する大きさに形成された表面を画定する支持台；

前記支持台の遠位端部から延びた接合部分であって、前記支持台の前記遠位端部に接触している第 1 の縁、及び前記第 1 の縁の反対側の第 2 の傾斜縁も有し、前記第 2 の傾斜縁が、第 1 の向きにおいて前記支持台に対して非直角に傾斜している、接合部分を含み、

前記接合部分が、放射線透過性であり、かつ前記支持台から一定距離延びており、かつ

前記接合部分が、前記支持台から取り外して、前記支持台に対して回動した構成で再接続されるように構成されており、これにより、前記第 2 の傾斜縁が、前記第 1 の向きとは反対の第 2 の向きにおいて前記支持台に対して逆になる、アセンブリ。

【請求項 9】

前記第 2 の傾斜縁が、前記接合部分が前記第 1 又は第 2 の向きにあるときに追加の支持台の両側に配置可能である、請求項 8 に記載のアセンブリ。

【請求項 10】

前記接合部分が、その下で他に接触せずにイメージング装置を収容できる距離まで延びている、請求項 8 に記載のアセンブリ。

【請求項 11】

患者の肢を受容して支持するように構成され、前記接合部に近接した位置で前記支持台に回動可能に接続された、クレードル部材をさらに含む、請求項 8 に記載のアセンブリ。

【請求項 12】

前記クレードル部材を前記支持台に固定するように構成された接続接合部；及び

前記接続接合部から前記クレードル部材まで回動可能に延びた支持アームをさらに含む、請求項 11 に記載のアセンブリ。

【請求項 13】

前記接合部分及び / 又は前記支持台から延びた放射線不透過性障壁をさらに含む、請求項 8 に記載のアセンブリ。

【請求項 14】

支持アセンブリであって：

患者の肢を受容して支持するように構成されたクレードル部材；

前記アセンブリを第 1 の支持台に回動可能に固定するように構成された接続接合部；

前記第 1 の支持台の遠位端部に取り付けられた接合部分であって、放射線透過性であり、かつ前記支持台から一定距離延びている、接合部分；

前記患者を乗せることができる第 2 の支持台であって、前記第 1 の支持台から分離されている、第 2 の支持台；及び

前記接続接合部から回動可能に延び、前記クレードル部材に回動可能に連結された支持アームを含み、

前記クレードル部材が、前記第 1 の支持台に対して回動可能であり、かつ前記肢を支持した状態でも前記第 1 の支持台に対して回動可能のままであり、前記クレードル部材の位置及び向きが、前記肢が第 2 の支持台から延びて前記クレードル部材に支持されているときに、前記第 2 の支持台の位置及び向きに応じて変わり、

前記接合部分が、前記第 1 の支持台の前記遠位端部に接触している第 1 の縁、及び前記第 1 の縁とは反対側の第 2 の傾斜縁も有し、前記第 2 の傾斜縁が前記第 1 の縁よりも長く、かつ

前記接合部分が、前記接合部分及び前記第 1 の支持台を通る長手方向軸を中心に回動させて調整することが可能であり、これにより、前記接合部分が回動するときに前記第 2 の

傾斜縁を反対方向に再構成可能である、アセンブリ。

【請求項 15】

前記クレードル部材の位置及び向きが、前記第1の支持台と前記第2の支持台との間に延在する前記肢により前記第2の支持台の位置及び向きに応じて変わる、請求項14に記載のアセンブリ。

【請求項 16】

前記接続接合部と前記支持アームの近位端部との間に回動可能に連結された第1のピボット；及び

前記クレードル部材と前記支持アームの遠位端部との間に回動可能に連結された第2のピボットをさらに含む、請求項14に記載のアセンブリ。

【請求項 17】

前記接合部分が、前記長手方向軸を中心とするさらなる回動が防止されるよう前記第1の支持台に固定されるように構成されている、請求項14に記載のアセンブリ。

【請求項 18】

前記接合部分が、前記第1の支持台に対して折り曲げられるようにさらに構成されている、請求項14に記載のアセンブリ。

【請求項 19】

前記接合部分の前記第2の傾斜縁が、前記接合部分が再構成されるときに前記第2の支持台の両側に配置可能である、請求項14に記載のアセンブリ。

【請求項 20】

前記接続接合部が、その下で他に接触せずにイメージング装置を収容できる距離まで延びている、請求項17に記載のアセンブリ。

【請求項 21】

前記接合部分及び／又は前記支持台から延びた放射線不透過性障壁をさらに含む、請求項17に記載のアセンブリ。

【請求項 22】

患者の体の位置を合わせる方法であって：

前記患者の体が乗せられる第2の支持台の近傍に第1の支持台を配置するステップであって、前記第1の支持台が前記第2の支持台から分離されている、ステップ；

前記第1の支持台と前記第2の支持台との間の距離を、前記第1の支持台から延びた接合部分によって維持するステップであって、前記接合部分が、前記第1の支持台の遠位端部に接触している第1の縁、及び前記第1の縁とは反対側の第2の傾斜縁も有し、前記第2の傾斜縁が前記第1の縁よりも長い、ステップ；

前記患者の体の肢を、前記第1の支持台に移動可能に取り付けられたクレードル部材に固定するステップ；

前記第1の支持台が前記第2の支持台に対して静止位置に維持した状態で、前記患者が乗せられ、前記肢が前記第2の支持台から延びたときに前記第2の支持台を再配置するステップ；及び

前記第2の支持台の再配置の動きに対応するように、前記第2の支持台から延びた前記肢により前記クレードル部材を前記第1の支持台に対して回動させるステップ、を含む、方法。

【請求項 23】

前記第2の支持台を動かしながら、前記体を画像装置によって画像化するステップをさらに含む、請求項22に記載の方法。

【請求項 24】

前記クレードル部材を移動させるステップの前に前記肢の一部の下放射線透過性接合部分の位置を合わせるステップであって、前記接合部分が前記第1の支持台の遠位端部に取り付けられている、ステップをさらに含む、請求項22に記載の方法。

【請求項 25】

前記第1の支持台を配置するステップが、前記接合部分及び前記支持台を通る長手方向

軸を中心に前記接合部分を回動させて調整するステップをさらに含む、請求項 2 2 に記載の方法。

【請求項 2 6】

前記第 2 の支持台を再配置するステップが、前記第 1 の支持台の遠位端部に回動可能に取り付けられた接続接合部によって、前記クレードル部材を前記第 1 の支持台に対して回動させるステップを含む、請求項 2 2 に記載の方法。

【請求項 2 7】

前記接続接合部から前記クレードル部材まで回動可能に延びた支持アームによって前記クレードル部材を前記第 1 の支持台に対して回動させるステップをさらに含む、請求項 2 6 に記載の方法。